

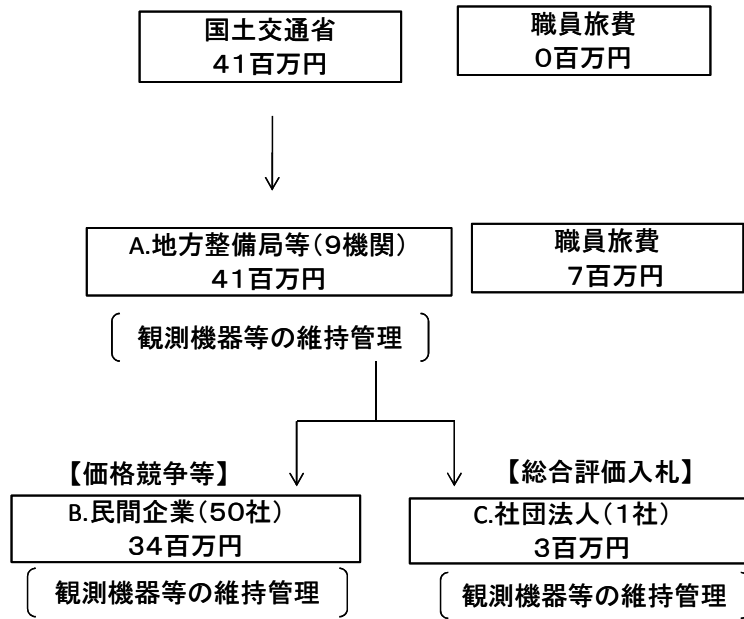
平成24年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	河川水理調査に必要な経費		担当部局庁	水管理・国土保全局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	S26～		担当課室	河川計画課河川情報企画室		室長 内藤正彦		
会計区分	一般会計		施策名	水害等災害による被害の軽減 水害・土砂災害の防止・減災を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	国土調査法		関係する計画、通知等	水文観測業務規程				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	水位、流量、雨量データなどの基礎的な河川情報を長期的に精度よく収集・蓄積することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国土交通省水管理・国土保全局所管の水位、流量、雨量等の観測所や観測機器について、定期的な点検を行い稼働状況を確認するとともに、消耗品の交換等を行うものである。 また、観測データの精度向上を図るために整理・照査を行い、資料を作成するものである。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	52	42	42	42	42	
		補正予算	—	—	—			
		繰越し等	—	0	—			
		計	52	42	42	42	42	
		執行額	51	41	41			
	執行率(%)	98.0%	98.9%	98.4%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	水位、流量、雨量の基礎データを収集、分析することにより、総合的な河川管理等に資するものであり、成果目標及び成果実績(アウトカム)を定めて実施するという性質のものではない。		成果実績					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	雨量観測所381箇所及び水位・流量観測所452箇所の計833箇所について点検等を実施		活動実績 (当初見込み)		833箇所	833箇所	833箇所	—
					833箇所	(833箇所)	(833箇所)	()
単位当たりコスト	5千円(実績額/箇所数)		算出根拠	実施箇所あたりのコストを算出				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	河川水理調査旅費	7	7					
	水害・土砂災害対策調査費	35	35					
	計	42	42					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	水位、流量、雨量データなどの基礎的な河川情報を長期的に精度よく収集・蓄積するために、必要不可欠であり、優先度が高い
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定、競争性の確保に問題はなく、また単位あたりのコストも妥当である。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	活動実績は見込みに見合ったものであり、また成果物は十分に活用されている。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>打合せ協議により全体計画、業務の進捗状況等の把握を行い、適正に業務が遂行されているかを確認を行っている。調査項目、検討項目などのさらなる精査を行い、可能な限りのコスト縮減に努める。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>これまでの知見を活かしつつ、さらに水位、流量、雨量データ等、調査項目の重点化等を進め、コスト縮減に努める。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	<p>これまでの知見を活かしつつ、さらに水位、流量、雨量データ等、調査項目の重点化等を進め、コスト縮減に努める。</p>		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0214	平成23年行政事業レビュー	0174

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.東北地方整備局			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	観測機器等の維持管理	6			
その他	職員旅費等	1			
計		7	計		0
B.(株)建設技術研究所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負費	観測機器等の保守点検業務	8			
計		8	計		0
C.(社)近畿建設協会			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負費	観測機器等の保守点検業務	3			
計		3	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東北地方整備局	観測機器等の維持管理	7		
2	関東地方整備局	観測機器等の維持管理	6		
3	北海道開発局	観測機器等の維持管理	5		
4	九州地方整備局	観測機器等の維持管理	5		
5	中部地方整備局	観測機器等の維持管理	5		
6	近畿地方整備局	観測機器等の維持管理	4		
7	中国地方整備局	観測機器等の維持管理	3		
8	北陸地方整備局	観測機器等の維持管理	3		
9	四国地方整備局	観測機器等の維持管理	3		
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)建設技術研究所	観測機器等の保守点検業務	8		
2	フィールドメンテナンス(株)	観測機器等の保守点検業務	4		
3	(株)西衛器製作所	観測機器等の保守点検業務	3		
4	(株)拓和	観測機器等の保守点検業務	3		
5	(株)山口建設コンサルタント	観測機器等の保守点検業務	2		
6	津乃峰測量設計(株)	観測機器等の保守点検業務	1		
7	(株)福田水文センター	観測機器等の保守点検業務	1		
8	(株)北開水エコンサルタント	観測機器等の保守点検業務	1		
9	金井度量衡(株)	観測機器等の保守点検業務	1		
10	(株)仙台測器社	観測機器等の保守点検業務	1		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)近畿建設協会	観測機器等の保守点検業務	3		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					